



■ 地域における人づくり実践事例

学びと食の世代間コミュニティー

Smile 熱海子ども食堂

Smile 熱海子ども食堂

代表 石橋 浩美 (人づくり推進員)

熱海市清水町 7-16 「寺子屋キッチン」

問合せ ☎ 0557-35-9092



寺子屋キッチン入り口



笑顔でカキ氷を手渡す石橋推進員

子供からシニアまで

「Smile 熱海子ども食堂」では、毎月第1・第3日曜日に、「体験型」の子ども食堂を開催しています。「体験型」というのは、子供たちへ食事の無料提供を行うだけでなく、手話やダンスなどの体験支援、そば打ちや恵方巻き作りなど季節の行事や調理体験の機会を提供していることが特徴です。

県の人づくり推進員である石橋浩美さんが代表を務める「Smile 熱海子ども食堂」は、熱海の子供からシニアまでの〈学びと食の〉世代間コミュニティー＝居場所作りをコンセプトとしています。

取材当日も、小学生から中学生・高校生ボランティア、大人のスタッフまで幅広い年齢層の参加者が和気あいあいと活動されている姿が印象的でした。

主な調理は中学生ボランティアやスタッフがを行い、小学生たちはおにぎりを作ったり、料理を盛り付けたり、みそ玉を作ったりしていました。



完成したお食事です。色鮮やかに仕上がりました。どの料理もとてもおいしく、子供たちからも「美味しい!」「お腹いっぱい」という声が聞かれました。

また、子供たちの迎え入れや見送りをする際のスタッフの皆さんの笑顔も、とても印象的でした。子供たちにとって「また来たい」と思える雰囲気は自然に作られているように思います。

地元の大人たちとの交流

取材当日は、地元の鰹節店「杉本鰹節商店」さんを招いて、削り節体験も行われました。筆者も初めて体験させてもらいましたが、想像以上に難しく、粉々になってしまいました。ところが、同じく初めて鰹節を削るという中学生たちはすぐにコツをつかんだらしく、しっかりと長細い削り節の形になっていました。

地元の大人を招いてこのような体験活動を行うことで、子供たちは学校や家庭ではできない学習ができ、地元への理解も深まります。さらに、普段は関わりのない世代間の新たな繋がりも生まれ、子供にとっても大人にとっても良い交流の場になっていると感じました。(山田)



子供たちの削り節体験を見ていた大人たちからも「懐かしい」「昔は子供の役割だったのよ」という会話と笑顔が生まれていました。

地域における人づくり実践事例

「柿田川撮影隊 Jr」で地域を元気に

「柿田川大楽」(清水町)

楽長 下山 義夫 (人づくり推進員)
駿東郡清水町伏見 311-7
問合せ ☎ 055-971-4196



柿田川公園の説明をする下山推進員



公園内にある美しい湧水

まずは柿田川の魅力を知ることから

「柿田川大楽」は、県東部に位置する清水町のど真ん中を流れる「柿田川」を、自然保護の視点だけではなく、いろいろな分野で「楽しむ」ことを目的に令和元年5月から活動を開始しました。

「柿田川をこよなく愛する」人たちが「詳しいより好き。好きより楽しい」をモットーに、体験・調査・文化・運動・情報発信など、自分の得意な分野で、柿田川の楽しみ方を提供しようとしています。

特に清水町に住んでいる子供たちが、柿田川のことをもっと知ること、郷土愛が醸成され、ここに住むことに誇りを持ってもらいたい、という願いがあるそうです。

取材当日も、観光案内の活動体験を行う小・中学生ボランティアが、県の人づくり推進員で楽長の下山義夫さんから柿田川の説明を聞きながら、思い思いの写真を撮影していました。

下山推進員によると、最終的な目標は、子供たちが観光客に柿田川公園を案内することだが、そもそも「柿田川の魅力」を知らなければ、形ばかりの観光ガイドになってしまうと思い、まずは「柿田川の魅力を写真に撮る」ことから始めたそうです。すると、大人顔負けの写真を撮影し、子供たちもだんだん「柿田川」の魅力に気づいてきたようだ、と話されていました。



柿田川を撮影する小・中学生ボランティア。活動終了後には、それぞれが撮影した写真をスライドショーにして、全員で観賞します。

地元の観光資源を活用した人づくり

「柿田川の一日の湧水量はおよそ 110 万 t で日本一。季節によってホタルやカワセミなどが見られる。」など、観光客に知ってもらいたいポイントを丁寧に分かりやすく、そして優しく伝える下山推進員。説明をしながら、公園内の看板等を丁寧に掃除されている姿が印象的でした。

ボランティアの一人に柿田川のどこが好きか聞いてみたところ、「季節によって景色が変わるところ。一年の中で葉っぱの色が変わるので、いつ来てもきれい。雨が降っていてもカタツムリが見られて、それも楽しい。」と笑顔で語ってくれました。下山推進員の思いは確実に伝わっているようです。

柿田川の撮影を通して、若い世代にまずは柿田川と地元のことを好きになってもらおう。そしてたくさんを知って、学んで、自ら柿田川の魅力を発信する、という活動へと繋がっていくと良いなと思います。(山田)



自分たちのカメラで撮影するだけではありません。観光客が写真を撮っていたら、積極的に声をかけ、全員が入った写真を撮ります。

防水カメラで水中撮影も行います。中学生ボランティアの一人は「前回よりもきれいに撮れてよかった」と嬉しそうに話していました。



■ 静岡市清水区の取組紹介

地域に愛される場を提供

清水区生涯学習交流館（静岡市）

講座「わんぱくランド」

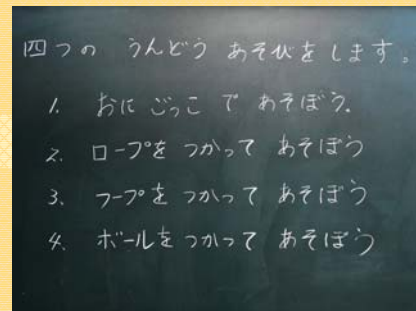
静岡市清水区生涯学習交流館運営協議会

静岡市清水区本郷町 5-13 中駿ビル 3 階

問合せ ☎ 054-388-9871



講師の杉山さんと子供たち



黒板に書かれた当日のプログラム

より密接な地域のつながりを

静岡市清水区には、21ヶ所の「生涯学習交流館」という施設があります。元々は静岡市が管理・運営していましたが、平成24年度からは地元の自治会が中心となって組織された「清水区生涯学習交流館運営協議会」が静岡市の指定管理者として、「集まる・つながる・発信する」という理念の元、清水区の生涯学習交流館を管理・運営しています。

その清水区生涯学習交流館の特徴は、一年を通して多種多様な講座が開かれていることです。

母親同士の交流を目的にした講座、料理教室、英語教室、盆栽教室、ヨガやピラティスの教室など、老若男女を問わず、様々な人が楽しめる講座が用意されています。遠方まで赴かなくても、身近にある生涯学習交流館で気軽に講座に参加できることは、地元の方にとっては大きな利点です。



清水区内にある21の生涯学習交流館の一つ、江尻生涯学習交流館です。3階建ての建物の中には、料理教室が行える部屋や大きな会議室等があります。

楽しく運動能力をUP!

様々な講座が開かれているなか、今回取材に訪れたのは江尻生涯学習交流館で開催された「わんぱくランド」（全5回）という、4歳から5歳までの子供を対象にした、楽しく遊びながら運動能力を高める教室です。

講師を務めるのは、静岡市清水区の総合型地域スポーツクラブ「たんぼぼ」で理事長等を務める杉山仁夫さんです。普段は、小さな子供から御高齢の方まで、幅広い年齢層の方を対象にスポーツや体づくりの支援活動をされているそうです。

杉山さんに「わんぱくランド」の狙いについてお話を伺うと、「4、5歳の子供たちが小学校に入学し、体育の授業が始まる前に『ごっこ遊び』を通して楽しく全身運動を体験させたい。」と話してくださいました。

子供たちは、魚やうさぎなど様々な動物になりきって、走る・跳ぶなどの動きを楽しそうに行っていました。

また、床に置いた太いロープの上を歩いてバランス感覚を養うプログラムがあれば、小さいボールを使って、走る・捕る・投げる等の一連の流れを取り入れたゲームもありました。終始、部屋中に子供たちの元気な声が響き渡る、楽しい教室となりました。

気軽に参加でき、楽しみながら学びや成長が出来る場があることで、身近なところから「人づくり」の実践活動が広がっていくのだと感じます。

皆さんも、このように地域の公共施設等で開催されている講座やイベントを探してみても、趣味を広げてみたり、新たな交流を作ったりしてみてもはいかがでしょうか。（山田）



フラフープを床に置き、その円内で片腕・片足だけを使ってバランスを取ります。子供たちは失敗しても楽しく取り組んでいるようでした。

■ 県の取組紹介

「人づくり推進員」を派遣します！

人づくり地域懇談会

静岡県文化・観光部総合教育課

問合せ ☎ 054-221-3304

e-mail sougouEDU@pref.shizuoka.lg.jp



人づくり地域懇談会を行う尾駒推進員。参加者同士の会話も生まれました。



人づくり地域懇談会を行う杉本推進員。参加者の意見を共有する場面もあります。

「人づくり推進員」とは

静岡県文化・観光部総合教育課では、県が進める「有徳の人」づくりへの県民の理解を深め、県民自らが行う人づくり実践活動の促進を図るために、家庭や地域における子育てや人づくりへの助言を行う方を「人づくり推進員」として委嘱しています。現在、人づくり推進員は県内で101名おり、全ての市町で活動していただいています。

また、当課では幼稚園や保育園、学校、公民館等から依頼を受け、講話やアドバイスを行うために人づくり推進員を派遣しています。

今回は、人づくり推進員を派遣して行った「人づくり地域懇談会」の事例を2件御紹介します。



人づくり地域懇談会の御紹介

- ① 6月14日に富士宮市立芝富小学校で行われた人づくり地域懇談会では、尾駒眞理推進員に、保護者を対象に「子どもの健やかな心と自立心が育つ効果的なコミュニケーション」について御講演いただきました。また、参加者同士で二人組を作り、家庭でのしつけでよくある場面を想定しながら簡単なレッスンを行う場面もありました。保護者同士の会話が生まれ、とても和やかな雰囲気での懇談会となりました。
- ② 7月12日に焼津市立さつき幼稚園で行われた人づくり地域懇談会では、杉本卓也推進員に、家庭教育について「自立」「社会性」などのキーワードを用いて御講演いただきました。保護者からは、「自分とは違う考え方を受け入れる大切さを学んだ」「目先のことだけでなく、将来のことを考える時間を作りたいと思った」といった感想が聞かれました。

人づくり地域懇談会・人づくりハンドブックのご案内

県では、原則無料で人づくり推進員を県内各地に派遣し、「人づくり地域懇談会」を行っています。平成12年から現在まで、4,900回以上開催してきました。「人づくり地域懇談会」では、家庭や地域における人づくりのヒントが詰まった「人づくりハンドブック」を使い、人づくりや子育てに関するアドバイスや、県の進める「人づくり」について説明します。「人づくり地域懇談会」や「人づくりハンドブック」につきましては県総合教育課にお問い合わせください。



～人づくりハンドブック～
「人づくり地域懇談会」の参加者や御希望する方へ無料で配布しています。

■編集・発行 静岡県 文化・観光部 総合教育局 総合教育課(総合教育班)

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3304 FAX 054-221-2905

E-mail sougouEDU@pref.shizuoka.lg.jp URL <http://www.pref.shizuoka.jp/bunka/bk-170a/>

静岡県の人づくり推進

検索

